

＜前期終了時点順位表＞

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	駒澤大学	6	0	1	18	9	+9	19
2	国士舘大学	5	1	1	12	6	+6	16
3	筑波大学	5	2	0	18	10	+8	15
4	東京学芸大学	3	2	2	8	7	+1	11
5	亜細亜大学	3	3	1	8	14	-6	10
6	中央大学	1	5	1	4	10	-6	4
7	順天堂大学	1	6	0	8	14	-6	3
8	日本大学	0	5	2	3	9	-6	2

★得点ランキング★

- 7ゴール 鈴木孝明(筑波大)
- 6ゴール 赤嶺真吾(駒大)
- 5ゴール 岩田耕併(亜大)
- 4ゴール 山崎雅人(国士大)
- 原 一樹(駒大)
- 町田多聞(筑波大)

★アシストランキング★

- 5アシスト 養父雅仁(国士大)
- 4アシスト 兵働昭弘(筑波大)
- 藤本淳吾(筑波大)
- 3アシスト 松浦 淳(東学大)
- 中後雅喜(駒大)
- 中田洋介(駒大)

他 1名



前期首位ターンを果たした駒大。キャプテン・中田を中心に試合を重ねるごとに成長のあとがうかがえた

5月25日 14:30 西が丘サッカー場

駒大6(3-1)4筑波大  
(1位・19) (3位・15)

得点者(アシスト)

- 【駒】14分:橋本早十2
- 【筑】19分:鈴木孝明7
- 【駒】43分:赤嶺真吾4(中後雅喜1)
- 【駒】44分:赤嶺真吾5(中後雅喜2)
- 【筑】46分:岡田隆1
- 【駒】48分:赤嶺真吾6(中後雅喜3)
- 【筑】52分:藤本淳吾3(中野洋司1)
- 【筑】66分:町田多聞4(阿部翔平2、藤本淳吾4)
- 【駒】75分:巻佑樹3
- 【駒】85分:原一樹4

KOMAZAWA	TSUKUBA
GK①牧野利昭(2)	GK①来栖由基(2)
DF②桑原 靖(2)	DF⑥植松弘樹(3)
DF⑤鈴木祐輔(3)	DF⑦中野洋司(2)
DF⑧廣井友信(1)	DF⑩川端佑介(2)
DF⑨筑城和人(1)	(82分)⑩佐々木惇(1)
MF⑦田中信成(4)	DF⑪阿部翔平(2)
MF⑩橋本早十(4)	MF⑤鎌田祥平(4)
(86分)④小林 亮(3)	MF⑥岡田 隆(1)
MF⑧中田洋介(4)	(55分)⑫鈴木達也(3)
MF⑥中後雅喜(3)	MF③藤本淳吾(2)
FW⑨原 一樹(1)	MF⑨兵働昭弘(3)
(87分)⑩関 光博(3)	FW⑫鈴木孝明(4)
FW⑨赤嶺真吾(2)	FW⑫町田多聞(4)
(64分)⑦巻 佑樹(1)	(76分)⑬遠山正悠(4)
S U B	S U B
GK③三栗寛士(1)	GK④山田慎太郎(1)
DF④栗原建次(3)	DF②今泉和己(4)
DF⑬桐原聡太郎(3)	DF⑧石井雄馬(1)
MF⑬岩本哲也(3)	MF⑦秋田政輝(3)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	木山隆之

警告(C)/退場(S)

- 【駒】11分:筑城和人(C)
  - 【筑】40分:兵働昭弘(C)、76分:遠山正悠(C)、83分:植松弘樹(C)、89分:中野洋司(C)
- [シュート]21:14[枠内シュート]13:9[決定機]7:8[CK]6:13  
[CK]5:7[PK]0:0[直接FK]23:16[間接FK]2:6[OS]2:4  
[支配率]49%:51%[主審]布施 直次[観衆]約1500人
- ※上記データは全て左側の数字が駒澤。枠内シュート、決定機、支配率は本誌記者による記録

後半開始早々に失点してしまった駒大。守備陣には課題の残る試合となった

CLOSE UP  
屈辱のステップ

「今日、俺にインタビューするんですか？しないでいいですよ、もう最悪です。課題なんていっぱいあってもう何がなんだかわかんなくなってきました」と試合後、首位ターンとはかけ離れたテンションで現れたのは廣井。一年生ながら重要な3連戦(国士大、東学大、筑波大)で見事スタメン起用され、ディフェンスの中央で高さや強さを武器に果敢に相手FWに挑んでいた。しかし、今日は4失点と大学サッカーの洗礼を浴びること。「たしかに結果(首位ターン)だけ見れば満足できる。でも、それで満足しちゃったらそこで終わっちゃう。同じミスは繰り返さないように次があったら頑張ります」。この苦い経験がきっと将来の糧となるはず。この屈辱をバネに廣井がどのような成長を遂げるのか注目したい。



ここまで順調のように見えた廣井だが実は大学サッカーの速さに悩んでいた



3アシストを決めた中後。トップ下というポジションでもそつなくこなした

情報  
＜1リーグ結果＞  
5月24日に行われた立正大学戦は1-1の引き分けに終わりました。結果とメンバーは以下の通りです。  
駒大1-1立正大  
【得点者】根本真吾(新堀亮介)  
【メンバー】  
GK 蒲原圭一郎  
DF 浅野浩一、沼守宏樹、相山泰紀、鎌田正輝  
MF 関口朋行(60分・柳崎祥兵)、佐々木志、新堀亮介(65分・笹岡新伍)、宮崎大志郎(71分・椿原徹也)  
FW 根本真吾、奥村英樹(65分・隅田翔)[SUB]  
GK 中地紹、MF 石井昇一、MF 覚張真也

越しゴール。85分には、田中からのパスを受けた原がGKの股間を抜くシュートでため押しした6点目を決め、筑波大に辛くも競り勝った。強豪筑波大とのシーズンゲームをなんとかものにし、リーグ戦前期を首位で終えた駒大だが、試合後、満足の表情を浮かべた選手は少なかつた。「内容が結果に伴っていない」中田。「2、3位とあまり差はない。気合を入れなおさないといけない」(中後)。この試合のような戦い方をしていたら、優勝争いが激しくなる。足元をすくわれかねないということを選手たちは十分に分かっている。とは言え、「勝って反省できる」という意味で前期の失点は後期につながる失点だと思おうと、牧野が語るように、前期の反省をいかし、これからはいくらでも修正が出来る。来週から関東選手権、そして夏には総理大臣杯が行われる。今年の駒大は非常に若いチーム。若いチームは多くの試合をこなして、経験を積むことでひとまわりもふたまわりも大きく成長出来るであろう。このリーグ戦中断期間で選手たちはどれだけ成長できるか、リーグ戦2連覇はそこにかかっている。(永峰 綾)